

# 豊田民報

日本共産党豊田市委員会  
◆豊田市日之出町一・六・六  
Tel: 三四・四七七一  
毎週一回発行

## 健康保険証の廃止 マイナンバーカードと一体化を強制

10月13日、2024年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化した「マイナ保険証」に切り替えると岸田政権が表明しました。マイナンバーカードの取得は法律で任意とされており、国民皆保険のもとでほとんどの国民が持つ健康保険証をなくしてマイナンバーカードに統合するのは事実上の「強制」です。カードの普及が進まないのは、国民が必要としていないからです。生活に欠かせない保険証と引き

換えにマイナンバーカードの取得を迫るのは強権的です。

政府はこれまで、現行保険証を「原則廃止」する方針でしたが、今度は期限を切った一律廃止を打ち出しました。マイナンバーカードを持たない人の医療についてはこれから対策を考えると無責任な姿勢です。認知症など手続きが困難な人々への対応も見えませんが、

**メリット・必要性を感じない 29%**

デジタル庁が8〜9月に行ったアンケート調査によると、マイナ保険証を申し込まない主な理由は「メリット・必要性を感じない」29%、「手続きが面倒」19.4%、「情報流出が怖い」14.7%などでした。

## 強制は「法令違反」 強く抗議し、撤回を求める声明

全日本民主医療機連は昨日、患者・利用者はもとより、医療・介護現場に大混乱を及ぼす「マイナンバーカードと健康保険証の一体化」＝「健康保険証の廃止」に強く抗議し、撤回を求める声明を出しました。

## 根本みはる市議の9月議会討論より

**2年で2億5200万円もかけて交付促進**

市民がマイナンバーカードを持つことで「利便性の向上が実感される」とのことですが、交付申請促進、事務経費のほとんどが国の補助対象で、豊田市では令和3年度、令和4年度合わせて2億5200万円余の予算をつけても交付枚数率は5割を超えたとのことです。国がマイナポイント事業の期間延長までおこなっている、交付の促進にまい進するのは、マイナンバーカードの利用拡大による「個人情報のデータの利活用」のためであり、大変危険です。

全日本民主医療機連合会「声明」 2022年10月14日

### 河野太郎デジタル相のマイナンバーを違法に強制する 健康保険証の廃止発言の撤回を求める

10月13日、河野太郎デジタル相は会見で「マイナンバーカードと健康保険証の一体化」に向けた取り組みを前倒しするために、これまで政府が説明してきた「原則廃止」を「廃止」として期限を2024年秋と決定しました。

マイナンバー法第17条第1項では「その者の申請により、その者に係る個人番号カードを交付するものとする」と「任意取得の原則」を定めています。国民皆保険制度においてマイナンバーカードと健康保険証の一体化は、マイナンバーカードの強制につながり法令違反です。

この間、政府はマイナポイントなどでカードの取得をすすげてきましたが、取得率は現在国民の49%に過ぎません。取得率が進まないのは、国民の個人情報をすべて紐付けして集積するやり方に、個人情報が守られるのか、国民の強い懸念があり、政府への信頼が低いからです。とりわけ、医療情報という極めて機微な個人情報をひも付けされて集積されることに国民が強く憂慮するのは当然です。

さらに、健康保険証を廃止すれば、マイナンバーカードを持ち歩く機会が増え、紛失のリスクも増加し、情報漏えいや第三者による悪用などの懸念も高まります。マイナンバーカードを紛失すれば、再発行に1か月ほどかかると言われており、その間の受診をどのようにするのかも決まっています。

患者、利用者はもとより、医療・介護現場に大混乱を及ぼす「マイナンバーカードと健康保険証の一体化」＝「健康保険証の廃止」に強く抗議し、撤回を求めます。

# 制服ブレザー選べる学校が急増

中学校の制服にブレザーを採用する自治体が増えていきます。

東浦町の校長会から保護者へのお知らせ文書には、指定制服追加の目的として、①より快適な学校生活を実現②ジェンダー教育推進の一助③保護者の経済的負担の軽減、とされています。

少なくとも自治体で、保護者や生徒へのアンケートも行われています。校則問題と合わせて検討する動きもあります。



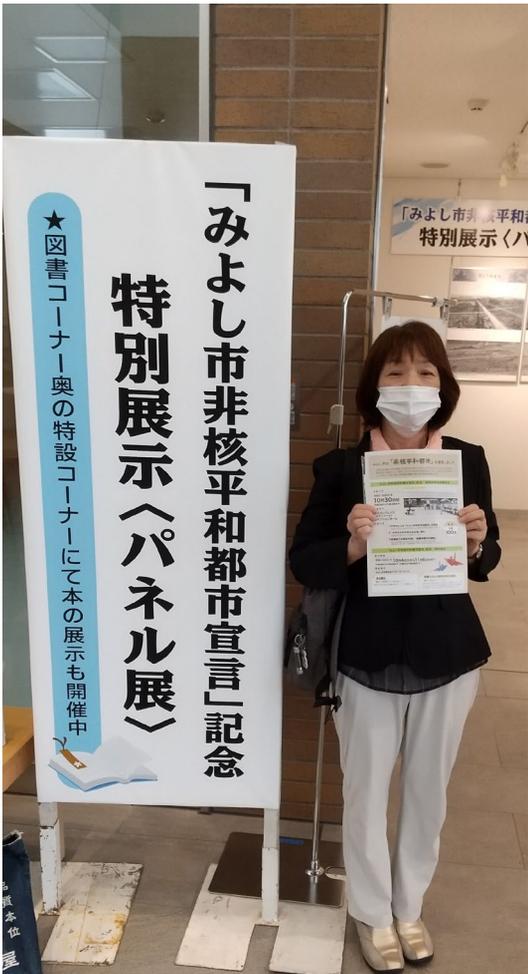
## ブレザー制服導入の県内の自治体

【既に導入】  
犬山市 大治町

【来年度（2023年度）から導入】  
（1校からでも実施する自治体ふくむ）  
安城市 刈谷市 幸田町  
瀬戸市 春日井市 尾張旭市  
江南市 大府市 日進市  
半田市 名古屋市

【2024年度から実施予定】  
常滑市 東浦町 津島市  
北名古屋市 小牧市

【導入の方向で検討中】  
豊川市 知多市



## 「みよし市非核平和都市宣言」記念パネル展に行きました

### 根本みはる

先日、みよし市「サンライズ」で開催中の「みよし市非核平和都市宣言」記念の特別展示パネル展（11月6日まで）を見学しました。（左上写真）

みよし市は、令和4年第3回みよし市議会（9月定例会）で議決を経て、平成22（2010）年に行った「平和都市」宣言を改め「みよし市非核平和都市宣言」を次のとおり宣言しています。

## みよし市非核平和都市宣言

「核兵器のない世界と恒久平和は、私たち人類共通の願いです。」

わが国は核兵器による攻撃を受けた唯一の国家であり、私たちは、非核三原則を掲げ、核兵器廃絶を全世界に訴え続けていかなければなりません。核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて、考え、語り、戦争で犠牲になった方々の想いと共に後世へ引き継い



わが青春つきるとも  
伊藤千代子の生涯  
上映会 十一月十九日（土）  
午後2時  
豊田産業文化センター  
主催：国民救援会豊田みよし支部

3日行動 統一協会との癒着は本気で絶て  
11月3日（木）  
とき：午後1時～  
豊田市駅西側デッキ  
主催 豊田革新懇